

## 強くてしなやかな国、日本 ～ 成長再生戦略 2011 ～

### 1. 21世紀半ばの目指すべき国のかたち

（国家ビジョン策定の視点）

- 21世紀半ばにおける日本のあるべき姿の先駆け
- 自然の脅威や恵み…「自然との共生」
- ⇒ 今こそ、政治の哲学と責任に裏打ちされた、明確なビジョン  
「長期的視野に立った責任ある成長戦略」を打ち立て、実行あるのみ
  - ※ 成長戦略の必要性：持続的な雇用を創出し、国民生活を安定・向上させるため
  
- わが国を取り巻く難題：

急速なグローバル化、円高やデフレの長期化
財政の対応力低下と危機的な財政状況
少子高齢社会の到来による社会保障制度の綻び
- + 追い打ちをかけるような東日本大震災の発生
- ⇒ 日本にはまだまだ世界に誇るべき潜在力があるが、このまま安易に現状に甘んじ、具体的工程表を伴う思い切った政策が取られない場合、さらに下り坂を転がり落ちることは必至

（目指すべき社会のあり方と国の姿）

- 目指すべき国家：「強くてしなやかな国」
- 社会のあり方：
  - 「生涯現役社会」：誰もが社会において居場所を得られ、元気で意欲ある人がそれぞれの経験と知恵に基づいて仕事ができる社会。
  - 「個人が輝く文化社会」：日本固有の文化や伝統を重んじ、個人の能力と創意工夫が最大限に発揮できる生きがいと品格を大切にす社会。
  - 「温かみのある地域社会」：地域社会の「絆」のように、人々がお互いを思いやり、手を携えあいながら、助け合っている連帯感のある共同社会。
  - 「共存共栄を目指す責任ある国際社会」：凜とした日本の座標軸を持ちつつ、アジア及び世界全体の利益のためにオープンな考え方で協調し、行動できる社会。

## 2. 日本を建て直し、再発進させる5つの基本戦略

日本を立て直し、再発進させるために必要な基本戦略として、「自立」「改革」「解放」を視座とし、5つの柱を立てる。

1. 成長再生のための「創造」：
  - ・ 教育・医療などの分野で従来の枠組みにとらわれない制度設計を通じ、世界に誇れる環境をつくる
2. 成長再生のための「安心」：
  - ・ ソフト・ハード両面からの安全・安心の基盤づくりと財政的裏付けを確保する
3. 成長再生のための「人材」：
  - ・ 専門性を持った高度な人材を育成するとともに、留学生等が日本で定着して活動できる環境を整備する
4. 成長再生のための「転換」：
  - ・ エネルギーの供給体制は、質、量、コストの面から多面的な検討を行い、再生可能エネルギーなどとのベストミックスを考える
  - ・ 日本の農業を成長産業として改革・育成し、強い農業をつくる
5. 成長再生のための「地域」：
  - ・ 人のつながりと自然との関わりを重視した伝統的価値観に基づく地域づくり

## 3. むすび

一人ひとりが何をすべきなのか、何ができるのかをそれぞれ問い直し、再び国民の力を結集して、新しい「強くてしなやかな国、日本」を建設していく。いま、そのためのスタート台に立つ。

以上